

◎病後の登園時に「医師の意見書」の提出が望ましい感染症（A）

病名	登園の目安	主要症状
インフルエンザ	発熱後5日を経過し、かつ、解熱後3日を経過してから	発熱、咳、頭痛、咽頭痛、関節痛
新型コロナウイルス感染症	発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで（解熱剤を使用せずに解熱し、かつ、呼吸器症状が改善傾向にあること）	鼻水、咳、発熱、軽い喉の痛み、筋肉痛や体のだるさ（倦怠感）など
百日咳	特有の咳が消失してから、又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了してから	夜間に激しい咳（コンコンと乾いた咳）、痰
麻疹（はしか）	解熱後3日を経過してから	発熱、目の充血、口腔内の白い発疹、全身の膨隆疹
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過し、全身状態が良好になってから	耳から顎にかけての腫れ、発熱
風しん	発疹が消失してから	発熱と同時に小さな赤い発疹
水痘（みずぼうそう）	全ての発疹がかさぶたになってから	かゆみを伴う水疱性の発疹
咽頭結膜熱（プール熱）	主要症状が消失し、2日経過してから	急な高熱、結膜炎、目やに、咽頭痛
結核	医師が感染の恐れがないと認めてから	発熱、咳、呼吸困難、食欲低下
髄膜炎菌性髄膜炎	医師が感染の恐れがないと認めてから	頭痛、発熱、けいれん、意識障害、髄膜刺激症状、乳児では大泉門膨隆
腸管出血性大腸菌感染症（O-157, O-26, O-111）	症状が収まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて、連続2回の検便によっていずれも菌陰性が確認されてから	嘔吐、下痢（血便・水様便）、発熱
流行性角結膜炎	感染力が非常に強いいため、結膜炎の症状が消失してから	多量の涙や目やに、激しい目の充血、発熱
急性出血性結膜炎	医師が感染の恐れがないと認めてから	強い眼の痛み、異物感、充血、まぶたの腫れ、目やに、結膜下出血

感染症（A） 「医師の意見書」

<p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">意 見 書</p>	
<p>博愛の里こども園 園長 様</p>	<p style="text-align: right;">園児名 _____</p>
<p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">病名「 _____ 」</p>	
<p>月 日から病状も改善し、集団生活に支障がない状態になったので、登園可能とします。</p>	
<p style="text-align: right;">年 月 日</p>	
<p style="text-align: right;">医療機関名 _____</p>	
<p style="text-align: right;">医師名 _____</p>	
<p style="text-align: right;">⑩またはサイン</p>	